

世界の山・白神の山・わが人生 ～しらかみなアルピニスト・米内山 和代～

「2018年ムスターグ・アタ⑥」

14日目、いよいよ頂上アタック

北京時間の1時起床、2時暗闇の中出発ここからはロープなし、スノーシューで歩いた

サポートに入ったシェルパの後を行く

スタートから深呼吸3回に1歩、ほどなく4回に1歩

暗闇の中霧が流れ全身に霜がつく

一人、また一人と私を追い越していく

こんな調子で頂上に立てるのだろうか？

そう思いながらも歩けるうちはと歩みを進めた

霧が晴れたのか星が見え出した

空が白々と明けてきた頃、後ろから来たガイドの平岡さんに「いい調子ですよ」と声をかけてもらった

不安だったので、その一言で元気が出た

振り向けばムスターグ・アタが大地に影を映していた

深呼吸して1歩1歩進める

頂上が見え、2人のシェルパが手を振っていた

頂上で待っていたシェルパに迎えられ午前9時過ぎ登頂

「着いた～」とすぐに座り込んだ

そしてみんなも頂上に着いて「バンザ～イ！」

この日は夜が明けてからは快晴無風

本当にラッキーだった

時間があるので、BCまで下りようとなった

不思議なもので下りはどんどん足が前に出る

呼吸もあまり苦しさを感ぜない

C1についてほっとして、高所靴を脱ぎ、トレッキングシューズに履き替えて身軽になりBCに日没直前の22時過ぎに無事下山

午前2時からの20時間行動となった

遅い到着にもかかわらず

コックさんが延ばして作ってくれた麺のスープだけをいただいた

あとはテントに戻り、爆睡だった

全員登頂でBCの仲間とお祝い

特にコックさんが大事にしていた「北京のお酒」で幸せな2度目の爆睡

BCからスバシへはもちろん車で下山

荷物がなかなか来なくてスバシでだいぶ待たされたが…

おわり

